



▲保全エリア内の植物の説明を聞く参加者

春の湿原を散策
ミズバシヨウ観察会

キウシト湿原は、昨年4月に一般公開を開始し、さまざまな観察会が実施されています。5月には、3日(火)から5日(木)にかけて『ミズバシヨウ観察会』（『NPO法人キウシト湿原・登別』主催）が行われました。

最終日の5日(木)には、約20人が参加。同法人会員の案内で、通常は立ち入ることのできない『保全エリア』の中を散策しました。

観察会開始時は曇り空だったものの途中からは天気にも恵まれ、参加者は約1時間30分かけて、ミズバシヨウや貴重な在来植物などの観察を楽しみました。

5
3~5

火災に備えて放水訓練

消防職団員合同放水訓練

4月26日(火)、登別温泉町のホテルで『消防職団員合同放水訓練』（市主催）を行いました。

この訓練は、春の全道火災予防運動の一環として毎年実施しており、消防署登別温泉支署と消防団登別温泉分団から26人が参加しました。

訓練は、高層宿泊施設で火災が発生した想定で行われ、消防車による延焼箇所への放水や救助隊による逃げ遅れた人の救出、救急車による最寄りの病院への搬送などを実施。指揮隊や消防隊、救助隊、救急隊の相互連携を確認するとともに、訪れた観光客や地域の方に火災予防を呼び掛けました。

4
26



▲連携を図り、手際よく放水作業を行う消防職団員

山菜採りでの遭難に注意！

4
20

山菜採りの遭難防止啓発看板設置

4月20日(水)、本格的な山菜採りシーズンを迎えるにあたり、遭難事故防止を呼び掛ける看板を市内40カ所に設置しました（市主催）。

同看板は、毎年行方不明者が後を絶たないことを踏まえ、行方不明者多発地帯に設置。

この日は、上登別町とカルルス町を結ぶ道道洞爺湖登別線沿いで設置作業が行われました。



▲山菜採りでの遭難防止啓発看板の設置の様子

山菜採りでの遭難事故は過去5年間で17件。昨年は2件発生しています。

皆さんの大切な命を落とすことのないよう十分注意しましょう。



▲こいのぼり型のけん玉を持って元気に遊ぶ子どもたち

4月27日(水)、登別子育て支援センターで『お楽しみデー』（同センター主催）を開催しました。

同センターでは、参加した親子が一緒に手遊びや体操遊びをする『あそびの広場』などの事業を行っているほか、2カ月に1回、『お楽しみデー』を開催しています。4月の『お楽しみデー』では、こいのぼり作りを実施。6組の親子が参加し、紙コップやシールなどで、こいのぼり型のけん玉作りに挑戦しました。

上手にこいのぼり型のけん玉を作り上げた後は、けん玉を持って全員で記念撮影をし、参加者は思い出に残る楽しい時間を過ごしました。

こいのぼり作りに挑戦
登別子育て支援センター『お楽しみデー』

4
27